

市の木
ツゲ市の花
サツキ

えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

(046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

美化推進員（左）と海老名駅周辺の清掃を行った海老名中3年生



心に美化の卒業記念

3月は卒業の季節。多くの若者が慣れ親しんだ学舎から、新たな学校、あるいは社会へと集まっていきます。市内の中学校では、3年生が成長を見守ってくれた地域とお世話になった人たちへのお礼をかねて、学区周辺の清掃を行っています。今回は、海老名中学校の生徒が行った海老名駅周辺の清掃体験をお伝えします。

美化推進員（左）と海老名駅周辺の清掃を行った海老名中3年生

駅前の清掃を終えた中学生は、「たばこのポイ捨てをしていく大人たちが多いのでびっくりしました。決められた場所で吸えばいいのに」と憤慨していました。「最近海老名駅の周りはきれいになってきた感じがしていただけど、こうした美化推進員の方の作業があった事を知りました。散らかすのは簡単だけど、一つひとつ拾っていくのは大変ですね」と、体験から得た視点での感想も聞くことが出来ました。

散乱ごみの現状、美化活動に携わる人たちとの共同作業。こうした体験は大変貴重な「卒業記念」として心に残ったようでした。

「おはようございます」と、海老名駅周辺に着いた3年生に、美化推進員の方が声をかけました。美化推進員とは、去年10月、市内全域を対象にした「まちの美化に関する条例」によって海老名駅周辺重点地区に配備された人たちで、区域内の清掃をはじめ、チラシ配布などの啓発活動、さらに悪質なポイ捨て行為に対して直接注意や指導を行っています。

「今日は朝からごくろうさま。ごみの集まりやすい所から收集しましよう」。美化推進員の案内で、3年生は交差点や道路の端を重点的に拾い集めます。

「大きいごみは少ないけど、たばこのポイ捨てが目立つましたね」の問い合わせに、「私たち推進員が見ている前では、たばこのポイ捨ては無いんですよ。誰も見ていないと思ってポイ捨てる。一人ひとりのマナー不足が原因なんだけれども、みんなの無関心も美化の障害じゃないでしょうか。中にはボランティア清掃を定期的に行う人たちもいるんです。毎日清掃活動していると、ポイ捨ても減ってきているのが分かります。日に日にみなさんとのマナーは向上していくと思っていますよ」と現状を話してくれました。

2月28日、卒業式を目前に控えた海老名中学校3年生は、地域に対する感謝の気持ちを表わし、自分たちの学区から海老名市をきれいにしていくこと、「市内クリーン作戦」を行いました。

朝礼後の8時45分、第1陣が清掃に出発。事前に決められたコースに沿って、道路端に落ちているごみを分別収集していきます。

たばこのポイ捨てに憤慨

大谷・園木昇昇ちゃん
知世恵さん長女=1歳上郷・加藤亮千裕ちゃん
香代子さんの2女=1歳

杉久保・田崎良昌・淳子さんの長女=1歳



中央・石坂匡史・糸路さんの長男=1歳1ヶ月



中野・間木平勝美・知子さんの長女=1歳1ヶ月



浜田町・織口剛次・奈美さんの2女=1歳



上郷・一戸誠之・薫さんの長男=1歳



東柏ヶ谷・海谷弘一・三枝さんの2男=1歳

まんまる赤ちゃん



▲一足早い春の訪れ

湘南温室組合の約120の農家が栽培したスイートピーなどを展示する「花持ち寄り品評会」が行われ、会場は鮮やかな花々に包まれました。

(2月21~23日、市役所エントランスホール)

▶日々の活動成果を披露
青少年会館で活動する団体が参加した「はつはるまつり」。音楽会、竹鉄砲作り、パネルシアターなどに大勢の親子連れが訪れ、にぎわいを見せています。
(2月26~27日、青少年会館)



「海老名の風景」募集します

広報えびな、あなたが海老名市内で撮影した風景を掲載します。
▽募集写真 冬から春にかけての市内風景を撮影したカラー・プリント写真(サービス料)1人1点。ただし今年に入り撮影したものに限ります(不ガ、ボジ、デジタルデータ、すでに雑誌などで発表されたことがあるものは不可)。▽応募方法 写真裏面に撮影者の住所と氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を必ず記入し、4月28日(金)までに直接または郵送で広報広聴課へ。選考のうえ1~2枚を広報紙上で、また、紙面掲載に漏れた作品数点を市ホームページ上で、それぞれ紹介します(掲載者は後日連絡)。なお応募作品は返却しません。▽問い合わせ 同課内



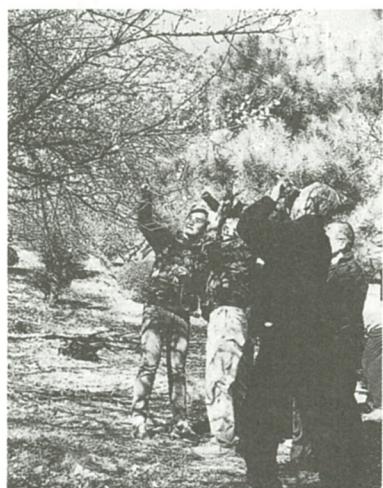
友達と楽しく学校生活を

なったという話を耳にしました。「美化推進員」とによる地道な清掃風景が、一部のボイ捨てをする人の意識向上

編集後記

に影響を与えたのでしょうか。私も、次代を担う子どもたちのためにも、「クリーン＆美しい」を進めたいと思います。(太)

フォトピックス



▲梅の香りまで写せるか?
2月上旬から行われた高齢者の方が対象の写真教室。この日は陽射しに恵まれた屋外で、紅白に咲く梅の花の撮影などを楽しみました。(2月10日、国分北・龍峰寺)

数字で見る海老名 ⑩

1,099

減少傾向の小学校1年生

94人から22人の増加にとどまっています。また、体格も15年前と今的小学校1年生を比較すると、少し大きくなっているようです。以前は足に腰掛けたときに、床が届かずぶらぶらさせていた子どもが多かったのですが、最近は床まで足が届く子どもも増えていることがあります。

最近は人口や世帯数の伸びが鈍化しているため、平成10年の小学校6年生の合計人数は2万8790世帯から3万4887世帯21.1%増と、大きく伸びたことが反映しています。入学したときよりも10人増加しています。これは海老名市のベッドタウンの進行に伴い、6年間に世帯数が35人でした。しかし5年後の平成6年は合計1292人、さらに5年後の平成6年は合計130人と、少子化の影響のため、年々減少傾向が続いている。昭和60年の1年生が6年生になる平成2年には、合計1645人になりました。

体格や性格に変化も…

そこで今まで近づいてきました。表題の数字1099は市内の小学校1年生の合計人数(去年5月1日現在)です。

今回は、海老名の小学生1年生に関する数字の変遷を紹介します。